

平成29年度 指定管理者モニタリング結果及び評価シート

評価期間 平成29年4月1日 ～ 平成30年3月31日

施設状況

施設名称	ふじみ野市立放課後児童クラブ(東地区)	所管課	こども・元気健康部子育て支援課
指定管理者名	特定非営利活動法人ワーカーズコープ	施設分類	子育て支援施設
指定期間	平成27年4月1日 ～ 平成31年3月31日	利用料金制導入	なし(指定管理料のみ)
導入年月日	平成23年4月1日	指定回数	2回
施設設置目的	小学校に就学している児童であって、その保護者が労働等により、昼間家庭にいないものにつき、家庭、地域等との連携の下、発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるよう、当該児童の自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立等を図り、もって当該児童の健全な育成を図る。		
施設概要	福岡・第2福岡・第3福岡放課後児童クラブ(定員120名、延床面積391.5㎡)、駒西放課後児童クラブ(定員70名、延床面積192.53㎡)、第2駒西・第3駒西放課後児童クラブ(定員80名、延床面積237.66㎡)、上野台・第2上野台放課後児童クラブ(定員120名、延床面積311.36㎡)、西放課後児童クラブ(定員70名、延床面積164.79㎡)、第2西放課後児童クラブ(定員70名、延床面積220.27㎡)、元福放課後児童クラブ(定員70名、延床面積151.26㎡)、さぎの森放課後児童クラブ(定員66名、延床面積170.79㎡)		
管理運営の基本方針	児童クラブ施設の管理について、児童福祉法及びふじみ野市立放課後児童クラブ条例の趣旨に則り、児童クラブ設置の目的を効果的に達成することを目的とし、住民サービスの向上と業務の効率化を目指す。		
指定管理者の主な業務	放課後児童クラブの保育実施に関すること。 児童クラブの施設、設備等の維持管理に関すること。		

【評価項目】

【評価基準】 5: 目標値以上の結果で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが大きいと評価できる場合 / 4: 目標値以上の結果で評価できる場合(上記「5」以外)、又は業務等が適切で、期待する水準以上であった場合 / 3: 業務等が適切で目標値に達している場合、又は業務等が期待する水準どおりであった場合 / 2: 実施計画に基づく管理運営や事業の実施が目標値又は期待する水準をやや下回る場合 / 1: 目標値を大きく下回る場合

1 施設の設置目的の達成に関する取組

施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか		評価
管理運営状況	・集団生活が困難であるなど特別な配慮を要する児童について、その情報を積極的に学校や出身保育所の担任と相談する機会を作るなど、関係機関と連携しながら保育を行っている。 ・児童虐待の早期発見のため、家庭状況等を積極的に把握し、市との連携を目指している。	3
区分	具体的な取組の状況・実績	
子どもの成長への貢献	・子どもの生きる力の基礎となるような、主体性や社会性、創造性を高める保育を実現する。 児童の生活ルールや児童クラブ内でのイベントの計画に当たっては、「子ども会議」を実施し、児童1人1人が、児童クラブで主体的に過ごすことができるよう配慮している。	
保護者の子育てへの貢献	・働く保護者の多様なニーズに応え、仕事と子育ての両立を応援する。また、多くの家庭から親しまれ、頼られるような施設を目指す。 児童クラブでの児童の様子については、日々のお迎えや保護者懇談会等で保護者に積極的に伝える姿勢が見られる。しかし、保護者懇談会の出席率が低いことや個々の職員の対応については差異が見られる点など、改善が必要。	
地域のまちづくりへの貢献	・社会的な孤独と分断の中で子育てするのではなく、子どもたちの成長を社会で見守り、様々な世代とのかかわりの中で子育てを応援する地域の関係性の再生を目指す。 福岡中央公園での「こどもフェス」、上野台小学校での「やきいもの会」では、地域住民の方の参加も多く、地域の中での放課後児童クラブの役割や、児童の地域社会との交流も積極的に取り入れるよう努めている。	

2 指定管理者の健全性

団体の財務状況や組織体制は安定していて、施設管理を継続的、安定的に行うことができるか		評価
特記事項(問題等があった場合)		3

3 施設の有効活用

施設利用状況		利用区分等	予定(計画・目標) 単位	利用実績 単位	対前年比	年度目標達成率	評価
		年間平均児童数	609 人	582 人	117.3%	95.6%	3
		(特記事項) 昨年度利用実績…496人					
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及びその理由			
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の運営に関すること</li> <li>施設及び設備の維持管理に関すること</li> <li>個人情報保護、守秘義務及び本業務に関する情報の公開に関すること</li> <li>意見・要望への対応</li> <li>運営改善の取組に関すること</li> <li>児童の保育及び健全育成に関すること</li> <li>その他指定管理に関する業務</li> </ul>					
	自主事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期休み(夏休み・冬休み・春休み)の一時保育</li> <li>延長保育</li> <li>昼のお弁当注文サービス</li> </ul>					
利用サービス向上の取組		平成29年度は保育技術や地域交流、障がい児対応、危機管理、個人情報保護の観点から、内部16回、外部11回の研修を実施し、延べ417人の研修参加実績があった。職員の意識改革や保育技術を学習することにより、総合的なサービスの質の向上を図っている。					

4 利用者評価

区分	内容		評価
利用者の要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	3
	(2) 調査、会議等の内容 【実施時期】平成29年12月1日～12月15日 【調査方法】利用保護者に対し、アンケートを実施。 【調査項目】①保護者への対応②子育てに関する相談対応③情報提供④支援員等と児童の関係⑤児童同士の関係⑥保護者同士の関係⑦保育内容⑧保育行事⑨遊具・施設⑩おやつ提供⑪利用時間⑫保護者懇談会実施方法⑬総合的印象		
利用者からの評価・要望・苦情等	(3) 調査、会議等の結果 配布数…500世帯。回答数339世帯。回答率67.8%。 ・回答を「満足」「やや満足」「ふつう」「やや不満足」「不満足」の選択制で調査した結果、各項目とも「満足」～「ふつう」は89.4%以上であった。 ・①「支援員の保護者への対応はいかがですか？」と⑬「総合的印象はいかがでしたか？」の項目については、「満足」「やや満足」が①79.0%、⑬80.8%と他の項目と比較して高評価となっている。		3
	(1) 良好とする評価 ・おたよりなどで、子どもの様子がよく分かるようになっており、助かっています。 ・親身に相談に乗ってくれる職員が増えて、とても利用しやすく感じる。 ・スノードームの工作など子どもたちが喜ぶようなイベントを計画してくれており、子どもも楽しく通っています。 ・おやつについても手作りのものも提供してくれ、助かっています。		
		(2) 苦情・改善等の要望事項 ・分からないことなど親への説明が支援員によってばらばら。連絡帳に何も記載されていないことが多い。 ・お迎えに行く時、職員の方がミーティングを行っている、相談したり保育中の様子を聞くことができない。 ・やるべきことをやっている子が我慢をすることが多い。児童数に対して、職員の数が不足しており、子ども同士のけんかやけがに目が行き届いているのか心配。 ・開室時間の延長をして欲しい。特に、長期休み中の朝は、7時台には電車に乗らなければ仕事に間に合わず、延長を希望する。	
		《対応措置》 ・保護者対応等がばらばらになっていることについて、支援員間で情報をしっかり共有し分かりやすく丁寧な対応を心がける。 ・集団下校後の時間に職員のミーティングを実施している、お迎えの保護者への対応等ミーティングの在り方を改善していく。 ・連絡帳の記載については、保護者との連絡事項のみでなく、保育中の児童の様子などを記載できるよう心がける。 ・開室時間の延長については、人員確保方策を検討し、実行できるよう検討していきたい。 ・職員については、基準どおりの配置は維持している。	

5 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(平成29年度)				市の収支				評価		
	年度計画額		収支実績額		平成29年度決算		平成28年度決算(前年度)				
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額			
事業収支 (単位:円)	収入	利用料金		利用料金		歳入	施設使用料	51,915,918	施設使用料	43,685,251	
		指定管理料	117,000,000	指定管理料	132,477,586		行政財産使用料	1,708	行政財産使用料	1,708	
		自主事業※	1,420,000	自主事業※	2,724,400		国庫支出金	22,651,984	国庫支出金	22,000,133	
		雑入		雑入			県支出金	22,651,984	県支出金	22,843,375	
		計	118,420,000	計	135,201,986		その他		その他		
	事業収支 (単位:円)	支出	人件費	97,690,000	人件費	107,313,124	歳出	修繕料	399,621	修繕料	366,120
			消耗品費	2,400,000	消耗品費	3,135,155		保険料	95,528	保険料	93,408
			光熱水費	2,800,000	光熱水費	3,449,510		指定管理料	132,477,586	指定管理料	117,000,000
			委託料	855,000	委託料	1,274,768		業務委託料		業務委託料	
			賃借料	660,000	賃借料	2,221,153		土地・建物賃借料	576,705	土地・建物賃借料	567,120
			通信費	680,000	通信費	1,184,909		その他		その他	
			保険料	620,000	保険料	917,529					
			修繕費	840,000	修繕費	506,149					
事業費(市指定事業)			720,000	事業費(市指定事業)	1,907,350						
事業費(自主事業)			420,000	事業費(自主事業)	2,964,500						
一般管理費(本社経費等)			10,735,000	一般管理費(本社経費等)	10,567,939						
計			118,420,000	計	135,442,086	計		133,549,440	計	118,026,648	
損益			0		△ 240,100	差引		△ 36,327,846		△ 29,496,181	
※自主事業は 該当箇所のみ 記載すること	収入	1,420,000	収入	2,724,400							
	支出	420,000	支出	2,964,500							
	自主事業損益	1,000,000	自主事業損益	△ 240,100							
人件費比率【人件費／指定管理者事業支出】									79.2%		
事業収支における経営分析				児童数増加により、指定管理料を15,477,586円増額している。支援単位増加により新たに職員を配置したため生じた人件費増と第3福岡、第2・第3駒西放課後児童クラブの新設により、消耗品費、光熱水費、賃借料、事業費等が増額しているほか、事業収支は概ね適正と評価できる。							
一般管理費が、計画額と実績額で異なる理由				特質すべき大きな差は生じていない。							

3

6 管理運営全般 ※すべて「適」で「3」、「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が適正で有効に配置されているか	適	3
	配置実績 運営及び事務を統括する統括責任者1人、労務管理及び経理事務等の担当者を1人以上配置 各施設に2人以上の常勤放課後児童クラブ支援員を配置し、1人を責任者となる所長とし、1人を所長の代理となる副所長とする。設備運営基準条例第8条第3項各号に定める資格を有する者を、各支援単位につき1人以上配置する。		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	適	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 利用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	適	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	適	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実施されたか		
その他	2 備品は台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	適	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが適切な時期に提出されたか		

7 危機管理体制 ※すべて「適」で「3」。1箇所でも空欄の場合は「1」、「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
安全対策	1 危機管理マニュアルが整備されているか	適	3
	2 危機管理マニュアルの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	適	
防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	適	
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	適	
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

総合評価

【総合評価】 S:極めて優れている/A:優れている/B:やや優れている/C:適正である/D:努力が必要である/E:改善が必要である

評価項目		評価	総合評価	子育て支援施設
総合評価	施設の設置目的の達成	3	C	
	指定管理者の健全性	3		
	施設の有効活用	3		
	利用者評価	3		
	事業収支	3		
	管理運営全般	3		
	危機管理体制	3		
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2期目の指定ということもあり、地域性や児童との関係も理解が深く、安定した運営と評価できる。</li> <li>・保育の内容については、総合印象評価で80.8%の満足度評価を得ており、利用者からの支持も得られている。</li> <li>・職員を大幅に配置転換したことにより、新たに保護者と良好な関係を築き始めたクラブがあり、人事異動を効果的に活用している。</li> <li>・特定のクラブにおいて、上級生と下級生の関係をうまくコントロールできていないとの保護者からの意見が多く出ており、児童1人1人へのきめ細やかな支援が困難になっている状況が見受けられる。</li> <li>・その他、管理運営全体については、人員配置について、特定のクラブで絶対数の不足を指摘する声があり、各支援単位の状況に即した配置提案を期待したい。</li> </ul>		
取組・改善案等(施設所管課)	前年度からの課題・改善事項	実施状況	次年度へ向けての目標・取組・改善事項	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者による保育人員確保に協力し、処遇改善等を検討し現職職員の意欲向上と、新規職員採用に取り組む。</li> <li>・同事業の指定管理者が2団体いることは、お互いの良い点を取り入れ、また、改善点を共有することができるという側面があるため、情報交換を促す。また、事故の発生状況分析・再発防止の検証についても情報交換を行い、より多くのケースについて検証を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の処遇改善について検討を行ったが、平成30年度に新たな指定管理者の選定を行うため、そこでの検討を行うこととし、実施を見送った。</li> <li>・指定管理者の同士での情報共有を促し、事故や保育中の問題ケースについては、所管課からも情報共有を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き職員の確保に協力していくとともに、開室時間の延長等の課題の解決に取り組んでいく。</li> </ul>	

## 指定管理者自己評価

### (1) 評価期間の取組に対する評価

#### ① サービス向上に向けての取組

- \*保育の向上安定を目指し、全職員を対象に様々な研修を行っています。
  - ・日々の保育について研修する機会として、事例検討や発達障害について等々の研修を行っています。また、各クラブ間での交換研修も行っていきます。
  - ・職員一人ひとりの危機意識の向上のために危機管理(リスクマネジメント)研修を行っています。
  - ・職員誰もが、食物アレルギーを持つ児童に対応できるように食物アレルギー研修を行っています。併せてアナフィラキシーの補助治療薬の使用法についての研修も行っていきます。
  - ・消防署に依頼をして、心肺蘇生法(AEDの使用法を含む)や止血法その他の応急手当を行いました。
- \*常勤職員を仕様書以上に配置しました。
- \*日々の活動の中から、子ども達による当番活動や清掃活動を異年齢で行う事により、生活力を身につけ、自主性が得られるような取り組みを行っています。また子ども会議を行い生活のルールや行事の企画、運営の為に話し合いから自主性を高める活動を行っています。
- \*保護者の方に、子ども達のクラブでの様子がわかるように、おやつメニューや行事等の写真を掲示しています。
- \*学校や地域との連携を密にし、クラブ運営の円滑化に努めています。学校の行事(運動会・音楽会・おまつり等々)や授業参観に出席し、子ども達の学校での様子を直接知るよう努めました。また小学校区ごとに行われる防犯会議に出席し、自治会等の方々との情報共有を行い、地域の特徴を知り、共有することができました。  
====利用者アンケートから====
  - ・子どもからも毎日元気に楽しく過ごせている様子が伝わってくるので安心して預けることが出来ます。
  - ・毎月のクラブだよりで子ども達の様子がよくわかるので助かります。
  - ・行事等楽しい事をたくさん企画して頂き喜んで参加している。

#### ② 業務の効率化に対する取組

- \*年に3回以上施設点検を行い、日々の清掃、遊具の点検等を行うことで、子ども達が安全に遊べる環境作りを行っています。
- \*子ども達が行う行事の中に、経費削減及び環境教育の一環として、牛乳パックやペットボトル等の廃材を利用した工作等を行っています。
- \*教材費や消耗品の購入には、ネット通販を利用することで、時短、経費削減を図っています。
- \*土曜日の保育は、同じ学校内のクラブは合同で行い、効率の良い運営を行っています。

#### ③ その他

- \*ふじみ野市子育て支援課としっかり協議をしながら連携に努めています。
- \*かみふくおか七夕まつりに竹飾りを7年続けて出展しています。
- \*全クラブの児童、保護者と一緒には「流しそうめん」、秋は「合同運動会」を行いました。
- \*群馬県にある「遊びの学校」へ毎年恒例の一泊のキャンプを行い、普段ではできない体験を通して、児童、保護者、支援員が協同し、触れ合い交流ができました。
- \*中央公園にて、「こどもフェス～みんなでわいわいあそびなさい～」と題して、子どもを中心としたお祭りを開催しました。  
児童クラブの子ども達、保護者の方々をはじめとし、地域の方・団体にご協力を頂き、共に食べること、共に遊ぶことを通して世代を超えて地域の子供達に遊んでもらえる一日としました。今年は公民館で活動している将棋サークルの方に来て頂き、とても好評でした。
- \*どうぶつしょうぎを考案したふじたまいこ先生に来て頂き、どうぶつしょうぎ教室を行いました。
- \*地域での社会連帯活動の一環として、地域のこども・保護者が集い体験できる「焼きいも会」を開催し、300名を超える地域の方々との参加がありました。

#### (2) 管理業務実施上の課題

- \*老朽化した施設のトイレが男女共用の為、利用者の方から衛生面からもよくない等の指摘があり、改修の要望が出されています。
- \*定期的に保護者会を開催していますが、出席者数が減少傾向にある為、各クラブで工夫をし出席率をあげ、保護者同士の連携を図れるようにします。

#### (3) 次年度以降の取組

- \*個々のこどもの様子をしっかりと見ながら、生活での困り事や不安はないかの支援を行っていきます。
- \*地域貢献活動の充実を目指します。